



禁忌、効能・効果、用法・用量変更のお知らせ

◎イトリゾールカプセル50、内用液1%、注1%(一般名:イトラコナゾール)＜抗真菌剤＞

【禁忌】 リオングアト

◎献血グロベニン-I 静注用2500mg＜人免疫グロブリン製剤＞

【効能・効果】 スティーブンス・ジョンソン症候群及び中毒性表皮壊死症（ステロイド剤の効果不十分な場合）

【用法・用量】 1日に人免疫グロブリンGとして400mg(8mL)/kg体重を5日間連日点滴静注

◎フェントステープ1mg(一般名:フェタニルクエン酸塩)＜経皮吸収型持続性疼痛治療剤＞

【効能・効果】 中等度から高度の慢性疼痛

◎プレベナー13水性懸濁注＜沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン＞

【効能・効果】 **高齢者(65歳以上)**…肺炎球菌(血清型1、3、4、5、6A、6B、7F、9V、14、18C、19A、19F及び23F)による感染症の予防

【用法・用量】 **1回**0.5mLを筋注

メルカゾール安全性情報 無顆粒球症について

★メルカゾール(一般名:チアマゾール)＜抗甲状腺剤＞

無顆粒球症等の副作用を早期発見し、重篤化を防ぐためメルカゾールを処方される際は以下の事項を遵守して下さい。

■定期的に白血球分画を含めた血液検査を実施して下さい。

無顆粒球症等の重篤な副作用が投与開始に発現し易いことが知られています。また一度、投与中止した後に再開する場合にも同様であることから、投与開始時、投与再開時は以下の頻度で**白血球分画を含めた血液検査**を実施して下さい。

- ・少なくとも**2ヵ月間**は原則として**2週間に1回**
- ・**2ヵ月以降も定期的に**

■無顆粒球症の初期症状(発熱、全身倦怠、咽頭痛等)があらわれた場合、白血球分画を含めた検査を行い、異常が認められた場合には直ちに投与中止、適切な処置。

■顆粒球の減少傾向等の異常が認められた場合、直ちに投与中止、適切な処置。

白血球数が正常であったとしても、顆粒球(好中球)が減少傾向にある場合には直ちに投与中止して下さい。

■患者さんに対して、顆粒球(好中球)の減少から易感染状態となり、敗血症等により重篤な転帰に至る場合があることを説明するとともに、下記の点を指導して下さい。

- ・定期的な血液検査を行う必要があるため、受診日を守って通院すること。
- ・無顆粒球症の初期症状(のどの痛み、発熱等)があらわれた際には、直ちに主治医を受診すること。
- ・主治医以外の医療機関を受診する場合には、メルカゾールを服用していることを医師に告げること。

包装変更のお知らせ

- ◎アクテムラ皮下注 162mg オートインジェクター(一般名:トシリズムブ)
＜ヒト化抗ヒトIL-6 レセプターモノクローナル抗体＞
注射針の内径が広くなり(外径は27Gのまま)、薬液投与時間が20秒から15秒に短縮。
- ◎アブラキサン点滴静注用 100mg(一般名:パクリタキセル(アルブミン懸濁型))＜抗悪性腫瘍剤＞
バイアルキャップ天面の表示:「FLIP OFF」削除
バイアルキャップの表面加工:つや消しに変更
- ◎インフルエンザHAワクチン(北里第一三共)シリンジ 0.5mL＜インフルエンザHAワクチン＞
キャップの開栓方法(引き抜き式→スクリュー式)
プランジャ(押子)の色:半透明→白色
シリンジラベル:調剤包装単位コード表示の追加
- ◎クロスエイトMC静注用 1000 単位＜乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子製剤＞
「単位」→「国際単位」に変更(販売名中の「単位」表記の変更なし)
- ◎タリビッド耳科用液 0.3%(一般名:オフロキサシン)＜ニューキノロン系抗菌耳科用製剤＞
調剤包装単位コード表示の追加
ボトルの刻印(TV)削除
- ◎ネキシウムカプセル(一般名:エソメプラゾール)＜プロトンポンプ・インヒビター＞
新コード表示
PTPシートサイズ変更:47×80mm→40×80mm
- ◎ヒルナミン錠 25mg(一般名:レボメプロマジンマレイン酸塩)＜精神神経用剤＞
- ◎ボグリボースODフィルム 0.3「QQ」(一般名:ボグリボース)＜食後過血糖改善剤＞
新バーコード表示
- ◎プレドニン錠 5mg(一般名:プレドニゾン)＜合成副腎皮質ホルモン剤＞
PTPシートの表示・デザインの変更:含量に単位(mg)表示を追加
識別コードの表示位置変更:表面→裏面
裏面の地色変更:白色→銀色
- ◎ボンビバ静注 1mg シリンジ(一般名:イバンドロン酸ナトリウム水和物)＜骨粗鬆症治療剤＞
ブリスター、個包装に「月1回投与」追記
- ◎ラストット注 100mg/5mL(一般名:エトポシド)＜抗悪性腫瘍剤＞
バイアル:胴径20→23mm、高さ45→40mm、口外径14.8→19.7mm
フリップキャップ:約18.0mm→約22.4mm
- ◎ロゼレム錠 8mg(一般名:ラメルテオン)＜メラトニン受容体アゴニスト＞
新バーコード追加
裏面の色調:アルミ色→白色

緊急購入薬の診療科限定オード開始のお知らせ

オード開始日	緊急購入薬	対象診療科
2014年7月4日	オペプリム cap	小児科
2014年7月10日	ビオチン散 0.2%「ホエイ」	女性外来

院内副作用報告

★2014年3月に報告された副作用

医薬品名	副作用名
ギャバロン髄注、シンクロメッドポンプ	カテーテルの硬膜下への移動

オーダー中止のお知らせ

オーダー中止日	薬剤名	理由
2014. 6. 26	ペルジピン注射液 2mg2mL	後発品へ変更のため ※代替薬：ニカルジピン塩酸塩注射液 2mg「日医工」
2014. 7. 1	イソジン液	後発品へ変更のため ※代替薬：イタリンM消毒液 10%
2014. 7. 2	テルモヘート軟膏 0.05% 5g	後発品へ変更のため ※代替薬：ソルベガ軟膏 0.05% 5g
	サイレス錠 1mg	後発品へ変更のため ※代替薬：フルトラセパム錠 1mg「アメル」
2014. 7. 8	ヒルシ注 25mg1mL	在庫がなくなったため※代替薬：ジプレキサ筋注用 10mg
2014. 7. 10	プリンペラン注 10mg	後発品へ変更のため ※代替薬：エリーテン注 10mg/2mL
	ブスコパン注 20mg2%1mL	後発品へ変更のため ※代替薬：ブチルスコポラシ臭化物注 20mg「日医工」 2%1mL
2014. 7. 11	ムコタイン錠 250mg	後発品へ変更のため ※代替薬：カルボシステイン錠 250mg「サワイ」
2014. 7. 23	アダラートL錠 20mg	後発品へ変更のため ※代替薬：ニフェジピンL錠 20mg「日医工」
	ベノキシル点眼液 0.4% 5mL	後発品へ変更のため ※代替薬：オキシブプロカイン塩酸塩点眼液 0.4%「ニッター」 5mL

有効期間短縮のお知らせ

★ワンタキソテル点滴静注 20mg/1mL(一般名:ドセタキセル水和物)＜タキソイド系抗悪性腫瘍剤＞
有効期間：36ヵ月→24ヵ月

製造販売承認承継のお知らせ

薬剤名	変更前		変更後
チモプトールXE点眼液 0.5%	MSD株式会社	→	参天製薬
トルゾプト点眼液 1%			
コソプト配合点眼液			

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容
パロセチン塩酸塩水和物 （パキシル錠・CR錠）	※重大な副作用：アナフィラキシー…発疹、血管浮腫、呼吸困難等があるので、十分な観察。異常が認められた場合、投与中止、適切な処置。
テパラチド （フォルテオ皮下注キット）	※重大な副作用：ショック、アナフィラキシー…呼吸困難、血圧低下、発疹等があるので、十分な観察、異常が認められた場合、投与中止、適切な処置。
ロラジドン （クラチン錠）	※重大な副作用：痙攣：異常が認められた場合、投与中止、適切な処置。
茵陳蒿湯 （ツムラ茵陳蒿湯エキス顆粒 （医療用））	※重大な副作用：腸間膜静脈硬化症…長期投与により、あらわれることあり。腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれた場合、又は便潜血陽性になった場合、投与中止、CT、大腸内視鏡等の検査を実施するとともに、適切な処置を行うこと。なお、腸管切除術に至った症例も報告されている。
アムホテリシンB[非リポソーム 製剤(注射剤)] （ファンギゾン注射用）	※重大な副作用：中枢神経障害…髄腔内注入で、髄膜炎、脳症、脊髄障害、対麻痺等があり、十分な観察、異常が認められた場合、適切な処置。
シメプレビルナトリウム （ソブリアートカプセル）	※重大な副作用：・敗血症…易感染性となり、重篤な感染症を誘発し敗血症に至ることがあり、定期的な血液検査実施など十分な観察、異常が認められた場合、投与中止、適切な処置。 ・脳出血…十分な観察、異常が認められた場合、投与中止、適切な処置。

※DSUについて、最重要、重要の情報を掲載しています。その他詳細情報については、医薬品・医療機器情報提供ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp/>）で確認可能。